

7.16 [火曜日]

## 突然の災害などに備えて！ (小・中学校で緊急時児童生徒引渡し訓練)

災害や事件は突然起こります。台風や大雨、地震や事件など、もしものことが起こったとき、子どもたちだけでの下校に安全面で不安がある場合に保護者のみなさんに学校へ迎えに来ていただくことになっています。引渡し訓練は、保護者や教職員が引渡しの手順を確認する大切な訓練です。

今回は、地震発生を想定した引渡し訓練を行いました。雨が降る中での訓練ではありませんでしたが、お迎えに来ていただいたみなさんのご協力のおかげで、スムーズに引渡しを行うことができました。



7.5 [金曜日]・7.18 [木曜日]

## 「水の安全」を守るため、点検と看板を設置

佐那河内村地域の安全を守る会と、青少年育成佐那河内村民会議が合同で、河川の危険箇所点検を行いました。1日目に約13か所の看板の点検や、水遊びの場として使われている箇所の安全確認を行いました。2

日目は看板の立て替えや、周りの草を刈るなどしました。水難事故などを防ぎ、村民の安全を守ることにつながる大切な活動です。参加していただいたみなさん、ありがとうございました。



7.21 [日曜日]

## 板碑をテーマに学術講演会を開催

「阿波の板碑文化と佐那河内の板碑」と題し、阿波学会理事で考古班の岡山真知子さんにご講演いただいたところ、44人にご参加いただきました。

板碑は、鎌倉時代から江戸初期にかけて死者の追善供養のために建てた平たい石の卒塔婆(そとば)であること、板碑文化は関東圏から伝わっており、阿波では約2,200基造営されたことなどについてお話いただきました。

また、本村指定文化財である「仁井田の板碑」は、地蔵画像には珍しく、放射光光背があり美しい板碑であることや、昨年度阿波学会で調査した根郷地区の観音庵板碑群についてもご紹介いただき、大事に管理して欲しいとのメッセージをいただきました。

次回は9月28日(土)10:00~12:00徳島大学総合科学部教授豊田哲也さんに、「佐那河内村における果樹栽培と産地形成(仮題)」と題しご講演予定です。



「仁井田の板碑」  
の拓本